

平和の取り組み広がる 非核平和演劇鑑賞会が開催される



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 TEL52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 TEL55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

演劇のあらまし

・劇団 秋田雨情・土方与志記念 青年劇場
・演目 「あの夏の絵」

ストーリー

被爆者を祖父に持つ高校一年生の恵は、美術部員。「被爆証言を聞いて絵に描く」取り組みに、迷いながらも参加することを決めた。東京から引越してきた美術部員の奈々は友達と遊ぶより絵を描くことが大好き。そして漫研と兼部している篤人のことが気に入らない。顧問の提案で被爆証言は三人で聞くことに。始めは乗り気でなかった部員たちも証言を聞いて心を突き動かされていく。だが、ある日、奈々が学校にこなくなってしまう。・・・

演劇を見て

終戦後78年が過ぎようとしている。戦争の実体験をした世代。10歳で経験した人も88歳になる。もう10年もすれば誰もいなくなってしまう。最近は何もない言葉が踊る。「台湾有事は日本有事」「敵基地攻撃」「核共有」など。本当に戦争を実体験した人は、それらのスローガンが虚しく感じるに違いない。

昭和20年の3月10日（東京大空襲・死者10万人）6月23日（沖縄地上戦終結・死者20万人）8月6日（広島原爆・死者14万人）8月9日（長崎原爆・死者7万人）。これら日本人にとって重大な日である。しつかり記

7月10日伊吹薬草の里文化センター（ジョイいぶき）で米原市非核平和演劇鑑賞会が開催され、市内中学校の生徒さんが鑑賞しました。午前の部は米原中学校、双葉中学校、河南中学校が参加、午後はその他の中学校が参加しました。一般は午前の部に参加しました。市長のあいさつ、瀬戸川遺族会会長の挨拶のあと演劇を鑑賞しました。

憶にとどめる必要がある。しかし戦争を経験した人には消すに消せないそれぞれ記憶があると思う。

経験が、あまりにも悲惨な出来事のため話しが出来なかつたこと。また小さかつたため、記憶が曖昧であることなど、いろいろな原因がある。しかしその記憶の一つひとつを引継ぎ、平和な社会を作るために、役立てることが、経験をしなかつた私たちの責任であると思う。そのため記憶を絵にすることは素晴らしい発想である。この劇が、広島の高中生と岐阜県の高中生の交流の中で生まれたことが素晴らしい。また今回、米原市内の中学生が、静かに2時間（休憩なし）に及ぶ演劇を集中して見られたことに感激しました。

◎ひこねピースフェスタ

映画「ひろしま」
日時 8月6日①10時15②14時15
場所 ひこね文化プラザ
※チケットは090-3969-1863まで
同時開催 ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展
6日・8日・9日（10時～18時）

各地で平和の取り組み

◎中村哲写真展&Peace Live in長浜

日時 8月18日15時～19時
19日9時～14時
会場 えきまちテラス長浜（JR長浜駅前）
映画「荒野に希望の灯を」と

13回ひこねピースフェスタ
8/6
ひこね市文化プラザ
メッセホール
大人 1000円
大学生 500円
中学生以下は 無料
同時開催
ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展
日時 8月6日（日）、8日（火）、9日（水）、午前10時～午後6時
会場 ひこね市文化プラザ 展示ロビー（メッセ棟1階） ※写真展は入場無料

中村哲 写真展 & Peace Live in長浜
8月18日（日） 15:00-19:00
8月19日（月） 9:00-14:00
会場 えきまちテラス長浜
同時開催 ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展
日時 8月6日（日）、8日（火）、9日（水）、午前10時～午後6時
会場 ひこね市文化プラザ 展示ロビー（メッセ棟1階） ※写真展は入場無料

主催 第13回ひこねピースフェスタ実行委員会 協賛市長官報南町485-301 彦根労働文化センター 22-2533